

Syllabus Id	syl.-08010
Subject Id	Sub-002510
更新履歴	20080314新規
授業科目名	保健体育
担当教員名	勝又瑛逸
対象クラス	4年生全クラス
単位数	2学修単位
必修 / 選択	必修
開講時期	20通年
授業区分	
授業形態	実技演習
実施場所	グラウンド・体育館

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

余暇時間の増大に伴い、ライフスタイルにおけるスポーツの役割が非常に大きな意味を持つようになってきた今日、ライフスタイルという転に照準を当て、ニュースポーツや選択種目による実践を通じて、多種多様なスポーツライフを過ごすためのベースを築き、生涯にわたってスポーツライフを継続するための自己教育力育成し、運動の楽しさを深
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

種目ごと、達成度テストを、授業の中で行う。

授業目標

各種目のルールを理解し、自分たちでそれぞれのレベルにあったゲームを作れるようにする
安全面への配 ができる
スポーツの大切さを理解し、それぞれのライフスタイルにあったスポーツを見つける。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション		
第2回	ニュースポーツ	ニュースポーツのルールやマナーを知り、それらの中から、	
第3回		自分にあったスポーツを見つけ、実践する。	
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			

第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回	前期期末試験		
第16回	後期オリエンテーション		
第17回	オールドスポーツ	ニュースポーツのルールやマナーを知り、それらの中から、	
第18回		自分にあったスポーツを見つけ、実践する。	
第19回			
第20回			
第21回			
第22回			
第23回			
第24回			
第25回			
第26回			
第27回			
第28回			
第29回			
第30回	後期末試験		

課題

評価方法と基準

評価方法:

種目ごと、定期的に達成度テストを行う。ルールを理解しているか、安全面の配慮があるかを実践の中で観察する。

評価基準:

授業への積極的参加姿勢を70%、ルールの理解・安全面に対する配慮を30%として、60点を合格とする。

教科書等

先修科目

関連サイトのURL

授業アンケートへの対応

授業内容を改善することにより、対応する。

備考